

「守中魂」胸に頑張れ



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811



NIE事務局
☎052(221)1047

中日新聞ホームページ
<http://www.chunichi.co.jp/>

名古屋市守山中学校で二日、三年生を送る会が開かれました。今年インフルエンザの影響で学級閉鎖が相次いだため、当初の予定を変更し、一、二年生は事前に劇やダンスをビデオで撮影。この日、三年生にお披露目されました。



3年生全員で合唱「いすれも名古屋守山中」

3年生を送る会

三年生二百一十一人は、各クラスごとに入場。生徒会副会長の村上睦樹君の開会の宣言がビデオで流れ、送る会が始まりました。生徒会はニュース番組をモチーフにした寸劇を披露。三年生の担任の特徴を盛り込んだ替え歌もあり、会場が笑いに包まれました。一年生は思い出を振り返りながら、合唱と群読で感謝の気持ちを伝えました。一年生は学園ドラマをテーマに発表。各部活動が曲に合わせて工夫したパフォーマンスを見せ、ダンスや合唱で盛り上げました。11・12組は「エピカニクス」、二年生有志は光を使ったパフォーマンスを繰り広げ、三年生は見入っていました。

その後、会場で三年生の担任らが「シェアハピダンス」の曲に合わせて元気よくダンス。三年間の足跡を振り返る「思い出ムービー」では、また小学校の面影が残る入学式、稲武の野外教育などの懐かしい学校生活が映し出されま

趣向凝らした劇やダンス



2年生「感動、青春ヒストリー」



1年生「輝き続ける守中魂」



生徒会は寸劇



3年生がお別れの言葉



1年生有志「SKYレンジャー」



11・12組「エピカニクス」



先生たちも歌やダンスを披露



2年生有志「オルベウス」

特別号はドラゴン号で制作



パソコン、プリンターなどを搭載した中日新聞の新聞製作・広報車。2005年8月にデビューし、中部9県の地域のイベントやNIE(教育に新聞を)活動、市長選などで特別号外を発行している。出勤は15年10月末までに460回を突破した。

元気いっぱい守中生

守山中学校では、今年度から「笑顔ひろがる 環境づくり」として、様々な取り組みを行いました。

花壇作りや募金に意欲 生徒会



花壇に花の苗を植えると、「友」の字が浮かび上がった

生徒会は、「ふれあいリサイクル運動」で地域の方と中学生と一緒に収集活動を行い、その収益金を使って年に二回、校内の花壇に花を植えています。

ユニセフをはじめ、さまざまな募金活動にも力を入れています。東日本豪雨の際には、生徒の発案で急ぎ募金活動が行われ、今までにない五万円を超える善意が集まりました。生徒たちは、学校、地域、社会全体をよりよい環境にして、みんなが笑顔で過ごせるようにしたいと願い、行動するようになっ



災害食の実習



募金への協力を積極的に呼び掛け

笑顔広がる 環境づくり

体育大会や音楽会に一丸

よりよい人間関係や絆づくりも「環境」ところえ、学校行事に取り組みました。

体育大会では、体育委員長で三年生の乗越研人君がスローガン「あつくつながら守山魂」のもと、団結して全力を尽くすことを宣誓しました。それぞれが自分の記録に挑戦するとともに、学級で取り組む長縄跳びなどに、クラス一丸となって取り組みました。特に三年生の「ソーラン節」の気迫あふれる演舞は大迫力でした。



宣誓する乗越研人君



11・12組の100mリレー

また音楽会では、どの学年・クラスも最優秀賞やよりよい演奏を目指して、練習段階から真剣に取り組めました。発表前にクラス全員で円陣を組んだり、悲喜こももな結果に涙したり、健闘を讃えあったりした姿はさすがらしく、三年生の学年合唱「大地讃頌」はこのような姿が表れたすばらしいものでした。



迫力の「ソーラン節」



3年生の全員合唱「大地讃頌」

3年生

三年生は、広く社会に目を向けて自分の意見を持ち、それを他者へ発信できる力を育てるため、「新聞から学ぶ」という取り組みを実施しました。まず、生徒たちはさまざまな新聞を読み比べ、一番興味を持った記事を選んでまとめました。

新聞活動 記事を追究し発表



新聞記事について発表

次にグループの話し合い、メイン記事を絞り込んで記事を書くことに挑戦。ニュース番組のような発表会を行いました。それぞれのグループごとにポスターやCM、お天気コーナー

2年生

特別支援学級を含む二年生二百二十人が一月二十七、二十八の二日間、六十五方所の事業所で職場体験学習を行いました。コメダ珈琲守山城下店で学習した濱口翔大君は「特に難しかったのは接客です。でもやっていくうちに、お客さんとの接し方が分かり、スムーズにできるようになりました」。

職業体験 働く喜び、苦労学ぶ



接客に挑戦する濱口翔大君

き、働く喜びや苦労、マナーなどを学ぶことができました。

1年生

「守中お仕事塾」が二月四日に行われました。九人の講師の方は、とうふ製造販売、整体院、グラフィックデザイナーなど、生徒たちにとって興味深い職種ばかりです。建設業の鬼頭光哉さんは、「中学校から身体を鍛えていたので、平成になってからかぜをひいていません。どんな仕事も健康が一番大切です」と熱く語られました。

お仕事塾 将来見つめる機会に

生徒たちは「身近な人から、普段は聞くことができない話を聞くことができて面白かったです。自分もちゃんと働ける人になりたい」と感想を記すなど、将来を考える機会となりました。



仕事について話をする鬼頭光哉さん